

ペットボトルキャップから作る 持続可能な未来

～新たな製品と子どもたちを救うワクチンへ～

2023年度第3回ローカルSDGs四国表彰式

2024年2月22日
有限会社ハイプラ



会社概要

有限会社ハイプラ

〒771-1154 徳島県徳島市応神町東貞方字貞光255番

創業 1975年3月 設立 1976年8月

代表者 代表取締役 松崎 久美子
取締役会長 元 木 昭
研究室からの起業です

事業内容 : 廃プラスチックの収集・運搬・処理
各種プラスチック再生・販売
インジェクション成型
各種プラスチック処理再生業

所属団体 : 日本プラスチック有効利用組合 理事

▶ 「廃プラスチックを資源に」を最重要テーマとし、次に何をやるのか？を考え、その製品に合わせた再生加工を行います。(硬さ、強さ、色など)

- ▶ 単一樹脂の再生原料化
- ▶ より品質の高い再生ペレット製造
- ▶ 廃プラを用途に合わせたプラスチック製品に

■本社・工場■



■土成工場■



■会社案内図■



プラスチックをゴミにしません

有限会社ハイプラ



ハイプラは、創業以来 **50年** 「プラスチック再生加工」を専門に品質管理を徹底した「循環型社会」に貢献する会社です。

樹脂素材を見極める力を強みに廃プラスチック類を分別、再生原料化、製品製造までを手掛け、廃棄物から製品までを一貫して行う珍しい会社です。

「廃プラスチックを資源に」

「用途ありきのリサイクル」

- ✓ 成形製品を製造するため！と定めて、次につながるリサイクルをすること
- ✓ より良い品質とするための努力を怠らないこと

「プラスチックをゴミにしない」

- ✓ 受け取る廃プラスチック類は、全てマテリアルリサイクル利用する
- ✓ 製造ロスから製品へ∞無限ループを実現する

「人と環境の共存」

- ✓ 地域のエンパワメントを活かす
(創業以来定年無し：84歳も活躍中 支援学校、障害者施設との協働)
- ✓ 環境負荷を可視化する (カーボンフットプリント認定取得、徳島県3Rリサイクル商品認定)
- ✓ 様々な社会活動に参画し、プラットフォームの役割を担う

事業での取組

ごみゼロ活動・徹底した再利用化を図る



徳島県 3 Rモデル事業所認定

持ち込まない

手作業による受入品の検品と選別により、再生原料化出来ない商品は受け入れない

ゴミにしない

再商品化でのロスを出さない

分別による再利用

廃棄物処理の必要な物は一定期間保管し、排出前には再分別を徹底してから排出する

ごみの発生は4年に一度
徹底的にごみゼロを目指します



溝のゴミまで徹底して再分別・再利用



各部門の保管ゴミ ここから再分別・再利用

事業所内での取組

環境負荷軽減への取組

紙・段ボールの資源化

- 両面コピー、裏面利用
- FAXのペーパーレス受信、管理保管
- 資源回収業者へ

電力消費量の削減

- 室内温度管理・点灯管理
- パソコン電源オフ、スリープ
- コピー機の省エネ設定
- 夜間電力の利用(充電など)

燃料

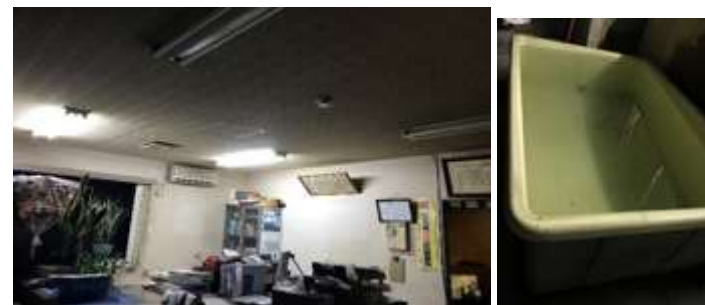
- アイドリングストップ
- 低燃費走行、低燃費トラックの導入
- ハイブリッド車・PHV車の導入

水道

- 地下水の利用、機器の点検
- 排水の再利用による原料洗浄、清掃、洗車等

環境整備

- 緑のカーテン
- 花や野菜による緑化
- 月一回のビークリーンアップ



再生品の製造工程



廃プラスチック

- 廃棄物取扱事業者
（家庭や事業所）
- 各種製造業
- 流通業
- 農林水産業
- 自動車解体業
- 建築解体業
- 家電解体業



前処理

- 異物分離
- 選別
- 破碎
- 粉碎



溶融

- 配合
- 溶融
- 混錬

再生ペレット
PP(N)A



再生ペレット
PE(N)



公的に認定された品質とCO₂削減

バージン素材と変わらない品質の維持を高く評価されています



- ▶ CFP(カーボンフットプリント)
- ▶ 主たる再生ペレットの **CO₂削減効果**を一般社団法人サステナブル経営推進機構 (SuMPO) より認定を受けています。
- ▶ 全国へ向けて再生原料の出荷中。**出荷量が増加**しており、国内外の様々な場所から環境負荷軽減への取り組みに貢献しています。

2000～経済産業省、国土交通省、農林水産省、環境省の4省による「CFP制度施行事業」が開始。以後ISO/TS14067などを経て2019～「エコリーフ環境ラベルプログラム」として取り組まれています。

CO₂削減を理念にした商品への取り組み

CO₂排出量の見える化など、様々な認定を得ています

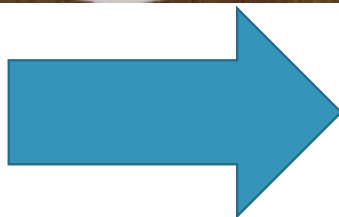


- ▶ CFP(カーボットプリント)
- ▶ 主たる再生原料と製品についてCO₂排出量を見える化します
- ▶ 徳島県3Rリサイクル商品・モデル事業所認定
原料の排出先、製造過程・内容、そして製品の品質検査まで
厳しい審議を経て認定されます。
- ▶ 心臓産業
(動脈産業と静脈産業をつなぐ心臓企業となります)
- ▶ 廃棄物収集運搬、処理処分に基づく法令に準じた各種許可、講習を受けています。



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

環境教育の取り組み：企業意識の変化



色分け
シールや付着物除去、屋内管理



お取引企業工場内での
お取り組み事例

環境教育 出前授業の実施



▲高等学校

▼小学校



ペットボトルは資源で、
キャップはゴミなの？



ペットボトルは資源で、 キャップはゴミなの？

消費活動のうち、一番手に取ることの多いペットボトルは資源ごみとして分別・回収されていることは子どもたちにも浸透してきました。

しかしながら、付属するキャップやラベルは商品によって異なる樹脂が利用されているため、各自治体により取扱いが違います。

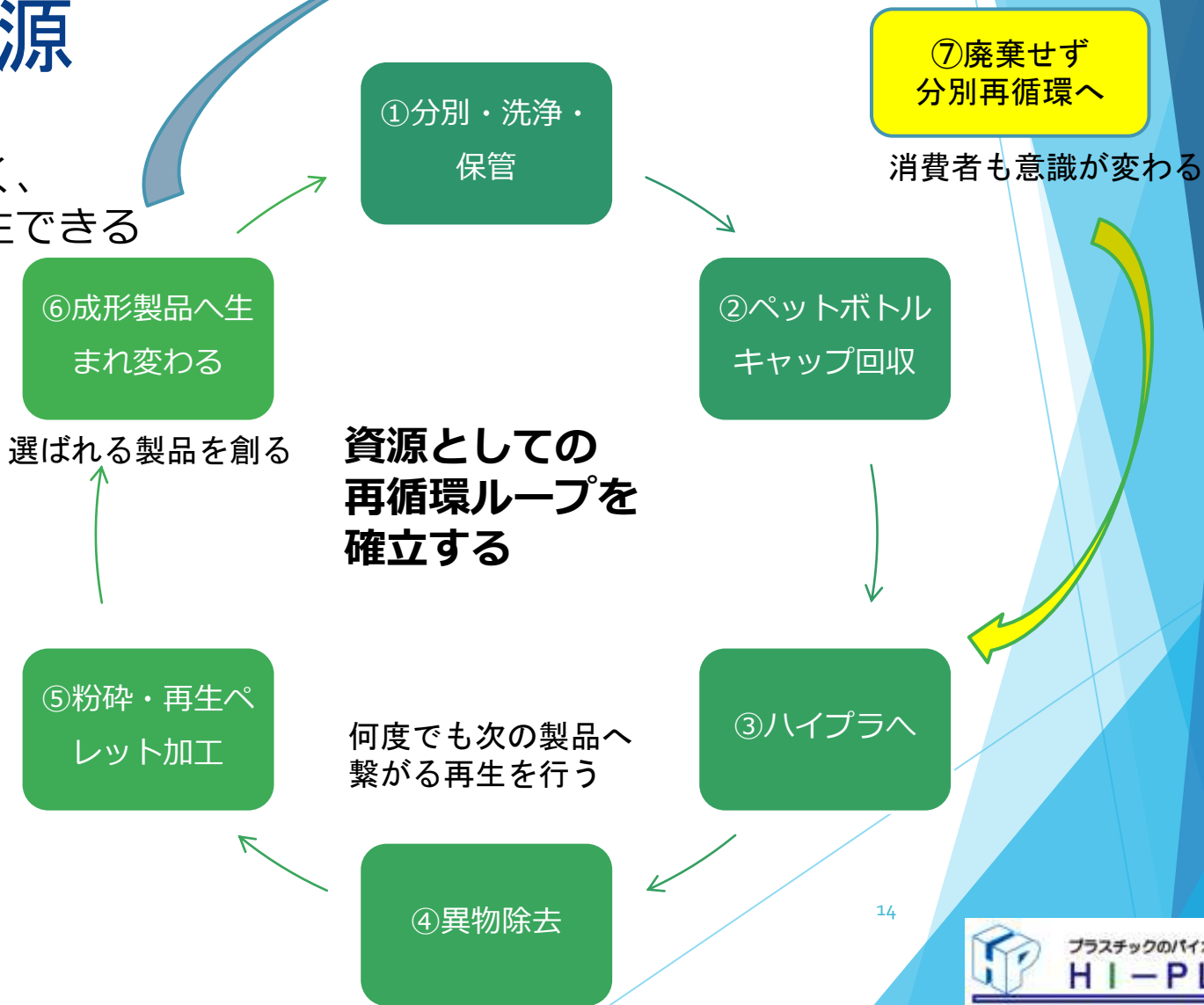
多くは、一般ゴミで焼却されたり、プラごみで回収され燃料化しています。

ハイプラでは次につながる
マテリアルリサイクルの技術を
活かすことで、再生商品化を
実現させます。



プラスチックは循環できる大切な資源

作るだけでなく、再度回収・再生できる仕組み作りを！



ペットボトルは水平リサイクルへ

何度でも使う社会へ

(有)ハイプラ×上勝町×サントリーホールディングスとの協業

(有)ハイプラ×小松島市×サントリーホールディングスとの協業

各自治体ペットボトルキャップの回収においても協力

ペットボトルキャップをワクチンに変えて 世界の子どもに届けるプロジェクト

- 世界の子どもたちを感染症から守るため、持ち込まれたペットボトルキャップから作られた製品代金の一部を認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV) に寄付します。

お持ち込みいただいた方のうち希望者(個人・企業・団体名も可)には、都度の受領証明書と感謝状がJCV様より発行されます。

回収 資金の流れ と 意義

環境教育

- ▶ 脱炭素社会・循環型社会への取り組み
- ▶ 地球温暖化防止・気候変動問題
- ▶ 化石由来燃料の使用削減
- ▶ 海洋プラスチックごみ問題
- ▶ 資源が乏しい国 日本
- ▶ 各自治体の焼却炉問題
- ▶ 最終処分場の処理limit
- ▶ SDGs

道徳教育

- ▶ 人権保護・人命救助
- ▶ グローバリゼーション
- ▶ 誰かの役に立てることの喜び

ゴミになる物を資源に変える

地域・地球環境を守る

誰かの命を守る



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



全国初！自治体主体のキャップ回収

ワクチン寄付3者協定

▼徳島新聞、JCV HP、吉野川市HPより

吉野川市×認定NPC法人世界の子どもにワクチンを日本委員会×ハイプラ



▼徳島市長記者会見、HP

(有)ハイプラ×徳島市

キャップ回収での協力

徳島市ホームページ「記者会見」（ペットボトルキャップ回収・寄附活動への協力について）

http://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/mayor/mayor_press/press_2022/kaiken20220928.html

市民の皆さまに周知するため、回収箱の設置についてもご覧ください。

徳島市ホームページ「ペットボトルキャップ回収活動に協力しています！」

キャップ回収と協力拠点

▼各種学校や企業



様々な場所でキャップを回収
拠点は広がっていますが、
もっともっと身近にあれば嬉しいです
プラスチック再資源化に必要です

▼コンビニエンスストア

▼市庁舎

▼ショッピングモール



キャップから生まれ変わった製品



◀キャップdeプランター

▼アクセサリや文具にも変身



キャップdeうちわ ▶
(徳島県からも受注実績有り)



キャップの色分けでカラフルなプランターに

キャップの色をそのまま活かし、成形のために必要なPP再生樹脂以外には余分なものを足さずに製造します。LCAサイクルの好循環を目指しています。



ポップで明るいカラーバリエーションが楽しめます。
インクや樹脂によって景色(模様)が表れ、一つひとつが違います。



環境教育ワークショップの実施①

手に取って知ることが
いちばん大切と考えています

体験を通して、資源分別を意識する
ことができます



環境教育ワークショップの実施②

▼キャップの粉砕品から世界に一つのアクセサリーに



▲キャップの粉砕品を自分でデザイン





徳島県内の高校生たちと

◀子どもたちに向けたワークショップの
ファシリテーションを行う様子

▼ごみとなるはずだったプラスチックを
活用して制作したキーホルダー



海外研修時には
徳島の海ごみや環境について
セッションし、現地の学生へ
プレゼントしたそうです



収集された物の流れ

持込された
ペットボトルキャップ
は、マテリアルリサイ
クル（再生原料化）し、
様々な商品を製造する
ことが可能です。

【例】
うちわ・ペン・トレイ
プランター・小物 等

みんなが使う物、
ごみ箱、文具等が
作れます。



1. 洗浄



2. 確認

プラスチック
が必要です！

3. 異物除去





4. 粉碎

色選別をすることで、次の製品をデザイン化



5. タンブラー

6. 成形

色分けしない場合 . . .



リサイクル製品



再生



有限会社ハイプラ

で選別・加工し、再生原料に生まれ変わります

回収

寄付



JCV

支援



開発途上国

提供



キャップを集めてワクチンを贈ろう

ペットボトルキャップ回収の注意点

回収できない例

汚れていたり、カビが生えている
⇒きれいに洗おう



値札などシールが貼られている
⇒シールをはがそう



ペットボトル以外のキャップ
⇒選別しよう



キャップを色ごとに分けると
再利用しやすい!

回収の流れ



回収したペットボトルで何人分のワクチンを届けることができたのか記載された寄付証明書が発行されます。

この活動に関係するSDGsの目標



JCVペットボトルキャップ寄付証明書

2020年 7月 1日 ID 00000000

〇〇△△株式会社 CSR企画室 寄付太郎 さま

東京都港区〇〇△△□□ 11-22-33 〇〇△△ビル8F

ぜひ皆さんも
ペットボトルキャップを
ゴミにしないで

命を助ける活動に
ご協力ください。

【お約束】

私たちは預かったキャップを
必ず再生原料にして
新しい製品を作ります

受領日	重量	寄付金額	ポリオワクチンで
2020/7/20	000Kg	円	00000人分
累計	000Kg	円	00000人分

ご寄付はワクチンにかえて開発途上国の子どもたちへ届けます。
ご支援に心より感謝申し上げます。

お知らせ

書き損じはがきの回収にご協力ください

たった1枚のはがきでBCGワクチン2人分とポリオワクチン1人分を届けられます

集めているもの

書き損じはがき
未使用はがき
郵便はがきや年賀はがき
額面の古い50円などもOK



未使用切手
使用済み切手
使用済み切手は消印を含ま
ないように周りをざっくり
りと切ってください



全国共通ギフト券
旅行券、ビール券
図書券、株主優待券
収入印紙、新幹線、回数乗車券



外国紙幣
※外国コインは
集めていません



未使用・使用済みの
テレホンカード
未使用プリペイドカード



ダイヤ、宝石、真珠、金、銀
プラチナ製の貴金属、腕時計
真珠のネックレス



下記の住所までお送りください



認定NPO法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会

www.jcv-jp.org

ご清聴ありがとうございました



私たち従業員一同は、誠意をもってお応えします

廃プラスチック類の回収や再生製品開発など
皆さまと共に持続可能な社会の実現を目指します。
ご協力よろしく願っています



環境教育インストラクター

破砕・リサイクル施設技術管理士

代表取締役 松崎 久美子

〒771-1154 徳島市応神町東貞方字貞光 255
Tel: (088) 641-1881 Fax: (088) 641-0395
Email : haipura@mc.pikara.ne.jp
土成工場: 阿波市土成町吉田原田市のー40

